

令和2年度 事業報告書

特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構

1 事業の成果

令和2年度は、平成31年度に引き続き、皮膚の健康に貢献する為のエビデンス創出事業として各種皮膚疾患に対する治療法の検討及びその評価を行い、患者QOL（クオリティ・オブ・ライフ）及び治療に関する研究を行った。また、皮膚科領域に特化した臨床研究審査委員会等の審査業務機能を持つことでより多くのカテゴリーの調査研究への対応を可能とした。

啓発活動事業では、一般市民を対象とした「光老化」という言葉の認知と意味を深めるための活動を積極的に行った。各種啓発資材の作成などさらにそれに付随する活動を実施した。また、医療従事者を対象として皮膚科医の学習機会の継続、医薬品等適正使用を目的とした生涯学習プログラム「NPO（Novel Professional Outlook）スキンセミナー」をweb配信によるオンデマンドビデオプログラムの実務研修の実施を開始した。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により激変する環境変化・長期にわたることによる学会活動や医療従事者の学びの場が制限されている中、日常の診療や医療活動の情報共有や学習の場となり、皮膚の健康増進・患者QOLに貢献できるものと企画した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【216,260】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
皮膚の健康に貢献する為のエビデンス(医学的根拠)創出事業	各種皮膚疾患の観察研究	令和2年4月から令和3年3月	全国	10名	皮膚科医療関係者	20,000名	35,229
	各種皮膚疾患に対する治療法の検討及びその評価	令和2年4月から令和3年3月	全国	10名	皮膚科医療関係者	20,000名	125,165
皮膚の健康に貢献する為の啓発活動事業	正しい皮膚科学・美容皮膚科学に関する啓発活動の企画実施	令和2年4月から令和3年3月	全国	2名	皮膚科医療関係者及び一般市民	20,000名	8,935
	皮膚科領域の医薬品等適正使用推進、診療・服薬指導等による実務研修の企画実施	令和2年11月から令和3年3月	Web	10名	皮膚科医療関係者及び医学部生	20,000名	8,626

	正しい皮膚科学・美容皮膚科学に関するセミナー・講演会、実務研修等の企画実施	令和2年4月から令和3年3月	全国	10名	皮膚科医療関係者及び一般市民	20,000名	2,990
皮膚の健康に貢献する研究開発のコンサルタント事業	皮膚に関する学術誌・書籍等への学術指導、皮膚疾患製品開発に関する助言指導	令和2年4月から令和3年3月	全国	10名	皮膚科関連機関関係者	50名	21,858
治験・臨床研究及び医学系研究の倫理的、科学的妥当性を検討する倫理審査委員会に関する事業	皮膚科領域に特化した調査・研究に関する審査意見業務	令和2年4月から令和3年3月	法人事務所	2名	皮膚科医療関係者	50名	13,458